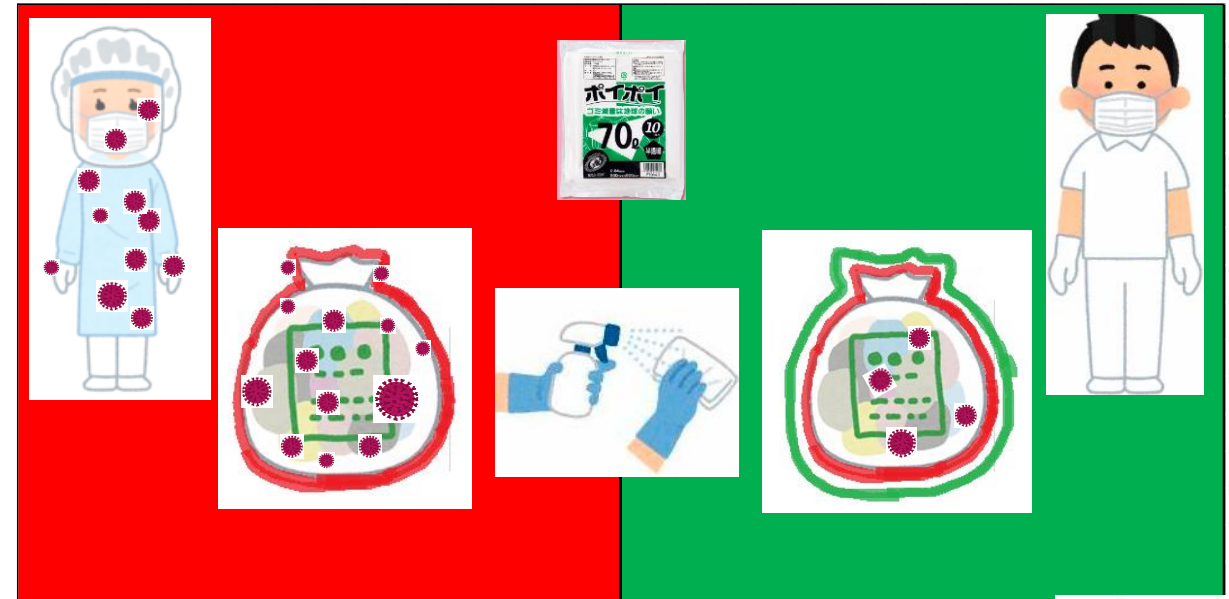


～ Q & A ～



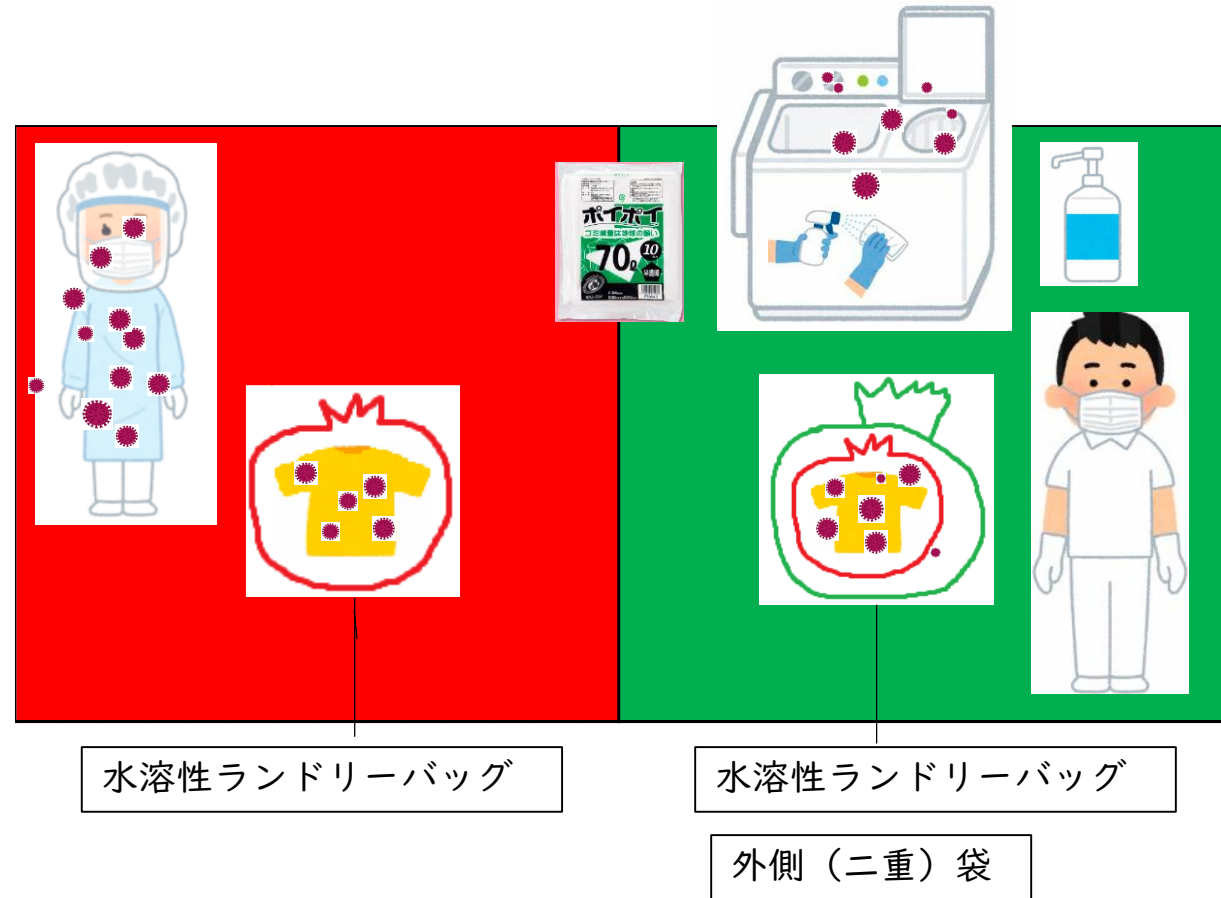
# ～ゴミの出し方～

- ✓ ゴミ袋をグリーンゾーンに出す前に、表面を消毒するか、二重袋に入れる
- ✓ 居室ごとにゾーニングしている場合は居室（レッドゾーン）から廊下（グリーンゾーン）に出す時に、二重袋に入れる
- ✓ フロア全体をレッドゾーンにしている場合はレッドゾーンからグリーンゾーンに出す時に二重袋に入れる
- ✓ ゴミ袋をグリーンゾーンに出す作業は可能な限り 2人以上で行う。グリーンゾーンにいる職員が二重袋を広げ、レッドゾーンの職員がその中にゴミ袋を落とし込む。グリーンゾーンの職員がしっかりと密閉する。
- ✓ 二重にして外側の袋（入れ物）の表面は清潔の原則に基づいてゴミ出しを行う



# ～洗濯～

- ☑ レッドゾーンで発生した洗濯物は、レッドゾーンで洗濯するか、レッドゾーンから持ち出す場合は水溶性ランドリーバッグに入れてさらに二重目の袋に入れてレッドゾーンから持ち出し所定の方法で洗濯を行う
- ☑ 外（二重目）の袋の表面は清潔で扱い、施設内のグリーンゾーンの洗濯場に持参したり、委託業者が引き取ったりする
- ☑ 汚染が高度な場合（便や吐物血液など）な場合は、洗濯の前に次亜塩素酸ナトリウムや熱水に浸漬して消毒を行う
- ☑ ゴミ袋をグリーンゾーンに出す作業は可能な限り 2人以上で行う。グリーンゾーンにいる職員が二重袋を広げ、レッドゾーンの職員がその中に水溶性ランドリーバッグに入った洗濯物を落とし込む
- ☑ レッドゾーンで発生した洗濯物を洗濯機に投入した後、洗濯機のボタンや周りを消毒する



水溶性ランドリーバッグ

水溶性ランドリーバッグ

外側（二重）袋

# ～食事～

- ✓ 配食車やワゴンに収納された清潔な食事を、清潔なまま取り出して入居者に提供する
- ✓ 自分が触る物品や環境表面と、手袋を着けた自分の手の清潔・汚染を認識して行動する
- ✓ 配食車やワゴン等がレッドゾーン→グリーンゾーンと区域を跨ぐ移動をする場合は消毒を行う



# ～換気～

- ☑ 感染症予防のため3密回避が叫ばれるが、高齢者施設において冬場の換気実施は現実問題難しい（入居者の協力、理解が必要）
- ☑ **CO2センサー**を用いて、**換気効率を見える化**することで入居者の快適性と感染予防対策を両立する
- ☑ **室温20℃/湿度40%以上/CO2濃度800ppm 以下**が**感染症拡大予防に効果的な環境指数**
- ☑ CO2濃度は狭い場所に多くの人数が集まると上がりやすい。**換気とあわせて、利用者人数に制限**をかけることも感染予防に有効

CO2濃度	空気の状態/換気の必要性
1000ppm以下	空気がクリーンな状態。
1000-1500ppm	室内の一部の窓を開けて換気する必要あり。
1500-2500ppm	換気不良。30分に数分程窓を全開にして換気する。CO2濃度が下がるまでは部屋の使用を控える。
2500ppm以上	換気状態非常に悪い。数値が下がるまで常時窓を全開にして換気を行い、部屋の使用を控える。

